



聖書的SDGs

2023年6月11日 於 ICBC

創世記2章15節



私の物語

- ☑ 幼少期から動物や昆虫に魅了される子どもだった。
- ☑ 獣医師を目指して大学に入り、そこで洗礼を受けた。
- ☑ 教会で「動物を癒す」ことが神の働きと教えられなかった。
- ☑ 獣医師になり「宣教のために仕方なく働く」と思っていた。
- ☑ ボブ・モフィット師を通して「神の愛の包括性」を学んだ。
- ☑ 開発途上国でのNGO活動や福島での支援活動で「被造物のうめき」を聞いた。「声を出せないもの」としての被造物を代弁する必要を示された。
- ☑ 帝京科学大学の非常勤講師として、聖書の言葉を使わずに、「聖書的SDGs」を将来動物関係の仕事をする学生に教えている。

石弘之

World History of
Infectious Diseases
Iku Hiroshi

感染症の世界史の

→P29～32 アフリカ、中南米など20カ国以上で活動する生物多様性保護の科学者団体「エコヘルス連盟」のジョナサン・エプステイン副会長は「**新興感染症の75%は動物に起源があり、森林破壊によって本来の生息地を追われた動物たちが人里に押し出されて病原体を拡散させるようになった**」と警告する。（中略）かつて国土の大部分が熱帯林で覆われていたシエラレオネでは、国土の4%しか森林が残されていない。それも皆滅するのは時間の問題だ。リベリアで残された熱帯林は20%以下で、その森林の伐採権の多くが海外の企業に売り渡されている。（中略）この結果、開発は野生動物が残された森林地帯に集中するようになった。ゴリラやチンパンジーは、生息頭数は大幅に減っているのに、生息密度は上がっている。そのうえ、この一帯では農村部から都市部への人の動きが激しくなり、ウィルスの封じ込めは困難になっている。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



- ☑ 貧困をなくそう
- ☑ 飢餓をゼロに
- ☑ すべての人に健康と福祉を
- ☑ 質の高い教育をみんなに
- ☑ ジェンダー平等を実現しよう
- ☑ 安全な水とトイレを世界に
- ☑ エネルギーをみんなに、そしてクリーンに
- ☑ 働きがいも経済成長も

- ☑産業と技術革新の基盤をつくろう
- ☑人や国の不平等をなくそう
- ☑住み続けられるまちづくりを
- ☑作る責任、つかう責任
- ☑気候変動に具体的な対策を
- ☑海の豊かさを守ろう
- ☑陸の豊かさも守ろう
- ☑平和と公正をすべての人に
- ☑パートナーシップで目標を達成しよう

人に関すること (社会・経済・教育・保健)

自然に関すること


2 飢餓をゼロに



4 質の高い教育をみんなに



8 働きがいも経済成長も



11 住み続けられるまちづくりを



7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに



3 すべての人に健康と福祉を



1 貧困をなくそう



5 ジェンダー平等を実現しよう



17 パートナーシップで目標を達成しよう



12 つくる責任 つかう責任



15 陸の豊かさも守ろう



10 人や国の不平等をなくそう



6 安全な水とトイレを世界中に



9 産業と技術革新の基盤をつくろう



16 平和と公正をすべての人に



13 気候変動に具体的な対策を



14 海の豊かさを守ろう



聖書は何と言っているか？

人に関すること

申命記19章18節b
あなたの隣人を自分自身のように愛しなさい。わたしは主である。

自然に関すること

創世記2章15節
神である主は人を連れて来て、エデンの園に置き、そこを耕させ、また守らせた。

SDGsと聖書の言っていることは同じなのか？
それとも違うのか？



同じようで、違う

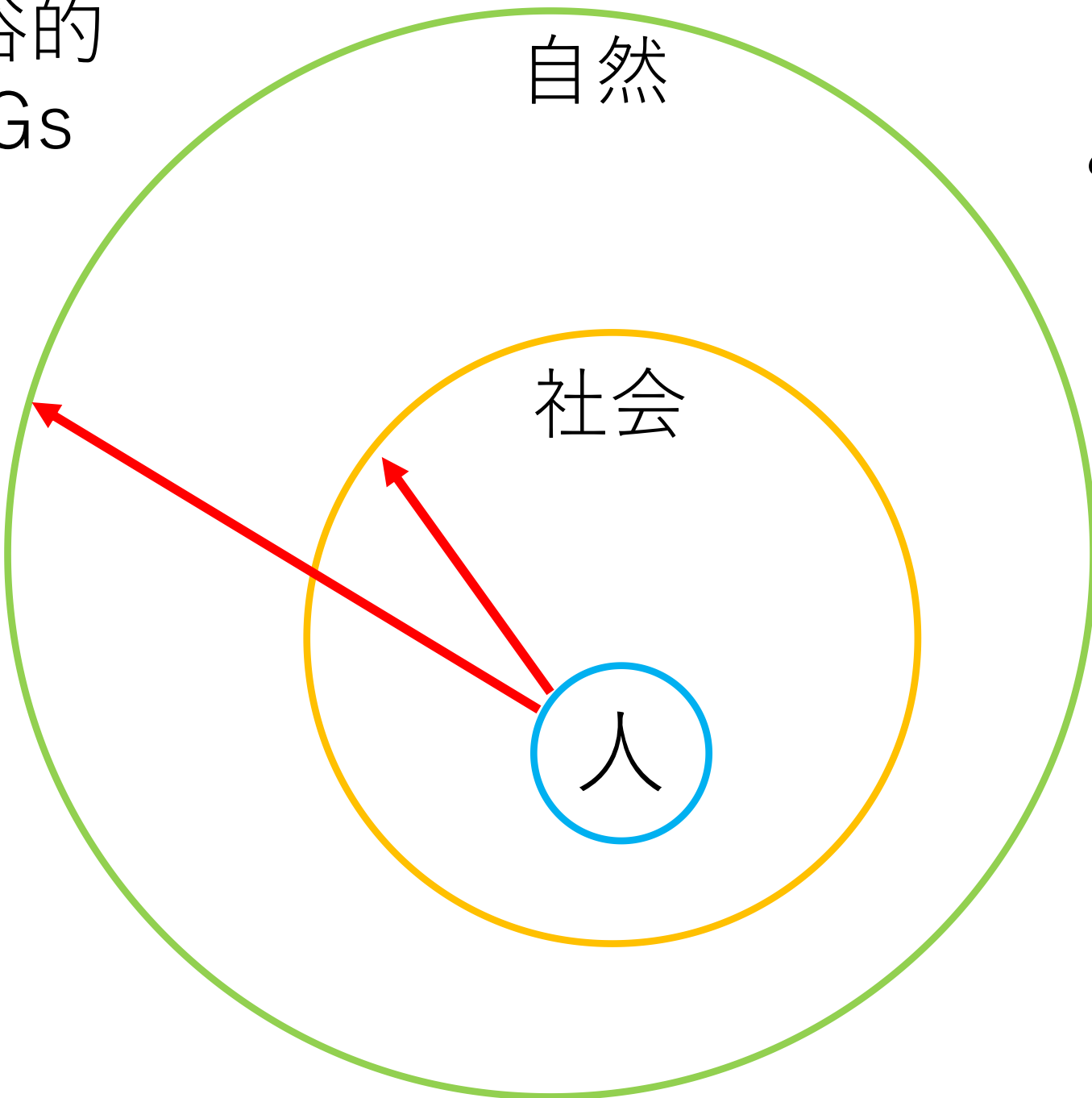


どう違う？



神の存在

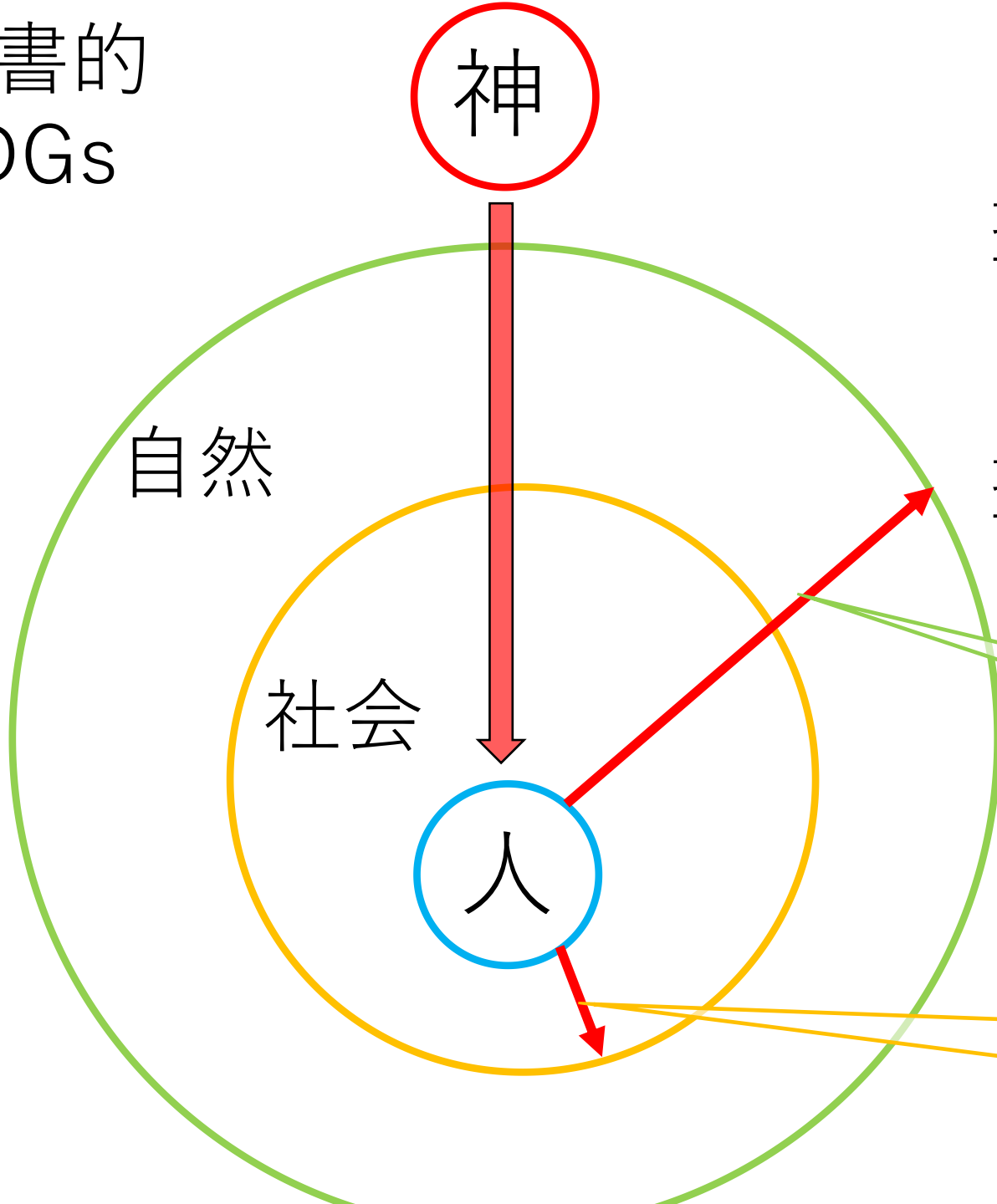
世俗的
SDGs



「持続可能な自然と社会」
という理想は素晴らしい。

しかしながら、
あくまで中心にあるのは、
「人間」だというのが、
世俗的SDGs。
= 「人間中心的SDGs」

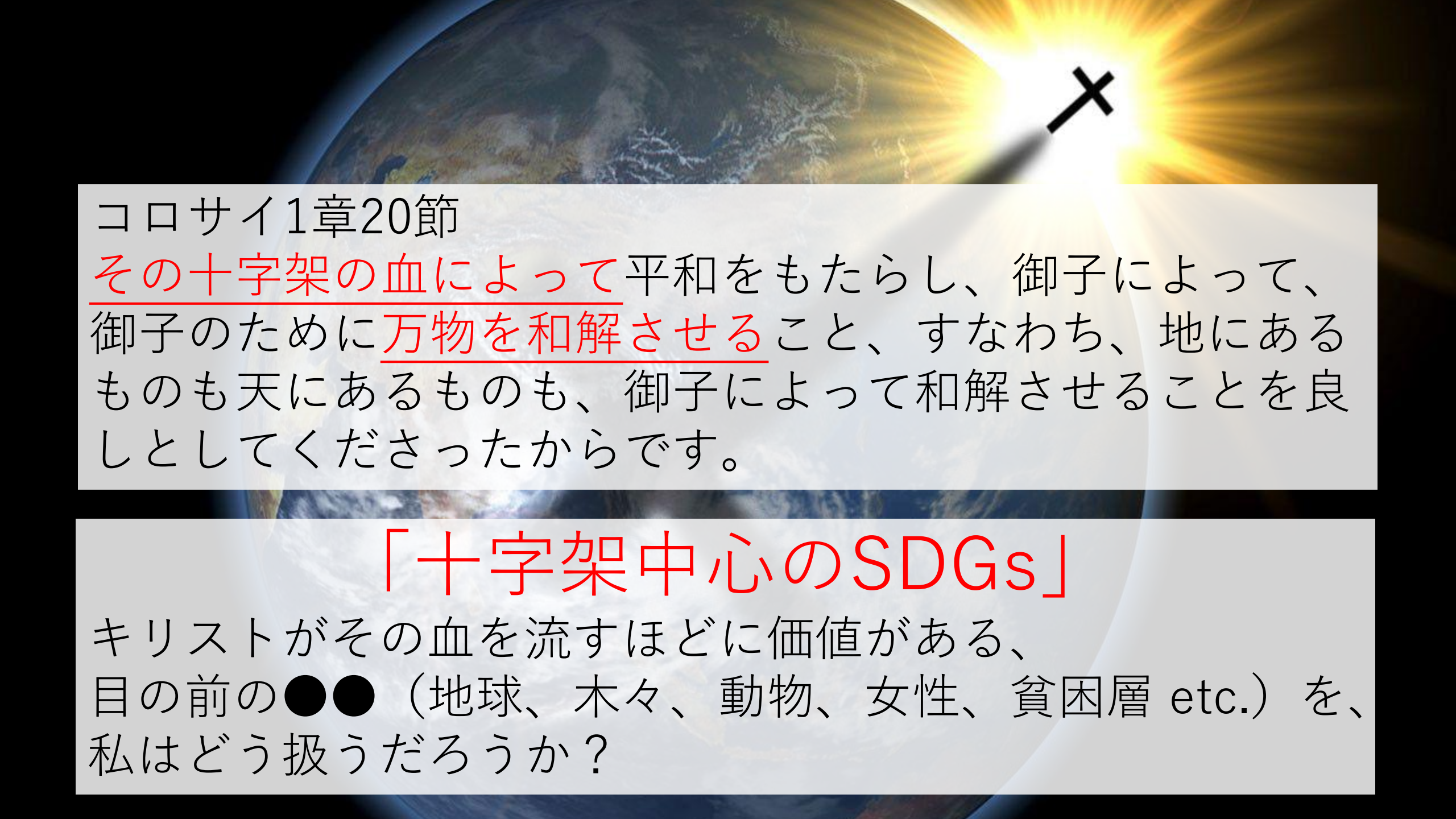
聖書的 SDGs



「持続可能な自然と社会」という理想を、聖書は国連と概ね共有している。しかし、その中心にいるのが、「神」だという点で、聖書的SDGsは違う。
= 「神中心のSDGs」

耕させ、守らせた。
(創世記2:15)

隣人を愛しなさい。
(申命記19:18)



コロサイ1章20節

その十字架の血によって平和をもたらし、御子によって、御子のために万物を和解させること、すなわち、地にあるものも天にあるものも、御子によって和解させることを良しとしてくださったからです。

「十字架中心のSDGs」

キリストがその血を流すほどに価値がある、目の前の●●（地球、木々、動物、女性、貧困層 etc.）を、私はどう扱うだろうか？

「神中心のSDGs」を実践するための3ポイント

1. 聖書は人間だけに關心があるという誤解
2. 創世記は何を語っているか？
3. 資本主義を疑う

1. 聖書は人間だけに興味があるという誤解

- ☑ ノアの箱舟の後の「虹の契約」は神と誰の間の契約？
→ 創世記9章8～11節
- ☑ 安息日を守るべきなのは誰？ → 出エジプト記20章10節
- ☑ 安息年に収穫しないのは誰のため？ → レビ記25章4－7節
- ☑ バビロン捕囚の70年は何のため？
→ II 歴代誌36章20－21節
- ☑ イエスと共にいたのは弟子だけ？ → マルコ1章13節

☑ イエス様が十字架で血を流したのは誰のため？

もしイエス様が 市長だったら

If Jesus were Mayor



コロサイ1章20節 その十字架の血によって平和をもたらし、御子によって、御子のために万物を和解させること、すなわち、地にあるものも天にあるものも、御子によって和解させることを良しとしてくださったからです。

ヨハネ3:16a 神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに世を愛された。

「世」と訳されているギリシア語：

kosmos = 宇宙 / 被造世界

神は何のために動物を造ったのか

動物の権利の神学

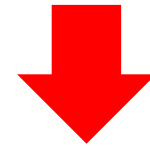


A・リンゼイ
著
宇都宮秀和
訳

なぜこれほどまで、
聖書が人間以外について語っている事実が
「無意識の盲点」になっているのか？

人間中心主義のレンズで聖書を読ん
できた西洋神学の歴史
(アリストテレスの影響)

動物や自然が人間のためにあるという
「人間中心的世界観」



人間も動物も自然もすべて、
神のためにあるという
「神中心の世界観」に移行する。

2. 創世記は何を語っているか？

創世記2章15節

神である主は人を連れて来て、エデンの園に置き、そこを耕させ、また守らせた。

創世記1章28節

神は彼らを祝福された。神は彼らに仰せられた。「生めよ。増えよ。地に満ちよ。地を**従えよ**。海の魚、空の鳥、地の上を這うすべての生き物を**支配せよ**。」

ジョン・ストット師の指摘

万物のいやし
Healing The Earth



ジョン・サンフォード
マーク・サンフォード 共著

どうせ新天新地に刷新されるんだから、
今の地球は気にしなくても良い？



この地球



新天新地



3. 資本主義を疑う



「SDGsは大衆のアヘンである」

貧富の格差

環境破壊→災害・疫病
→さらなる貧困→内戦

世界のトップ8人の合計資産が、
世界の下から半分（40億人）の資産と同じ

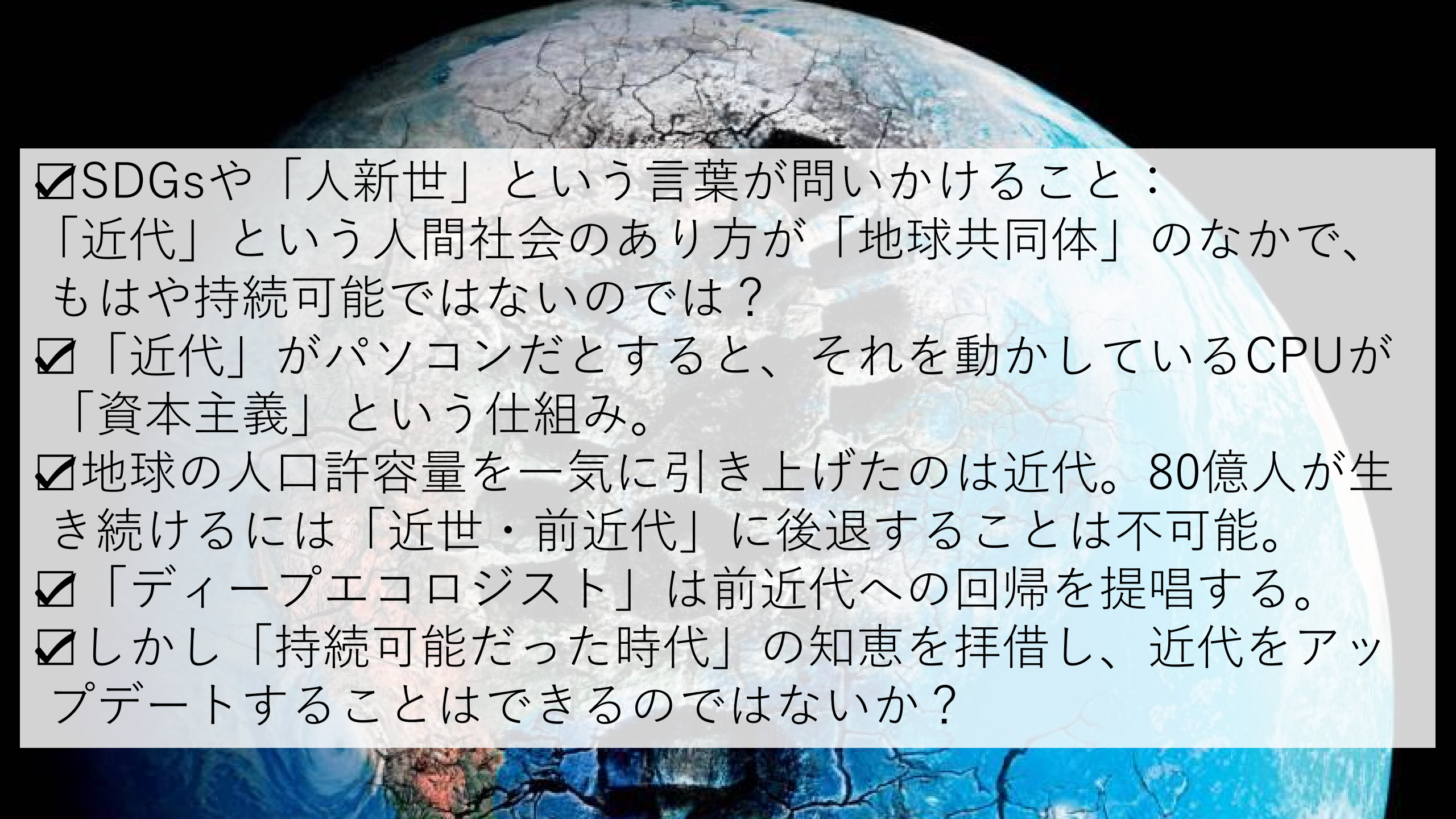
資本主義とグローバリズム

ファストファッション、

焼き畑や森林伐採
の背後には貧困が。

齋藤さんが問題にしているのは、
「資本主義」そのものであり、
今経済界や政治の世界で言われている「SDGs」は、
資本主義という前提自体を疑っていないというのが、
「SDGsは大衆のアヘン」という言葉の意味。

環

- 
- ☑️SDGsや「人新世」という言葉が問いかけること：
「近代」という人間社会のあり方が「地球共同体」のなかで、もはや持続可能ではないのでは？
 - ☑️「近代」がパソコンだとすると、それを動かしているCPUが「資本主義」という仕組み。
 - ☑️地球の人口許容量を一気に引き上げたのは近代。80億人が生き続けるには「近世・前近代」に後退することは不可能。
 - ☑️「ディープエコロジスト」は前近代への回帰を提唱する。
 - ☑️しかし「持続可能だった時代」の知恵を拝借し、近代をアップデートすることはできるのではないか？



イロコイ族の知恵

「これは7世代先の子孫たちに益になる決定か？」

A large, leafy tree stands in a savanna landscape under a clear blue sky. The foreground is filled with tall, golden-brown grasses. The tree's canopy is dense and green, with some branches extending towards the right. The overall scene is bright and clear, suggesting a sunny day.

作者不明のギリシャの諺

『自分が日陰を利用できないと分かっているながら
老人が木を植えると、社会は偉大になる』



日本は本当に

「和の国」か

吉木誉絵

日本人の
アイデンティティを
問う四冊の
デビュー
論考

いま、二つの
「和の伝統」が
失われつつある

「日本が
どのような国か、
本気で考えた一冊」

—— 養老子孟司

日本の伝統にある
「持続可能の知恵」



「雲孫」という言葉

資本主義を端的に表す言葉

今だけ、カネだけ、自分だけ

7世代とは言わずとも、
3世代先の人々から、
私たちは「借金」
していないだろうか？

お金ではない価値を
どれだけ持てるか？

戦争を招く「身びいき
バイアス」を超えて、
他者を思いやれるか？

3.5%

【私たちが足元からすべきこと】

神の代理人であることを自覚するキリスト者として、
被造物を愛し、うめいている被造物の代弁者となる。

じゃあ、どうしたらいいの？



たまたま道で木の上か地面に鳥の巣を見つけ、それにひなか卵があり、母鳥がひなか卵を抱いている場合、その母鳥を子と一緒に捕ってはならない。申命記22章6節

